

重度訪問介護従業者養成研修統合課程  
情報開示

情報の種類	内容
法人情報	<p>株式会社 土屋 岡山県井原市井原町192番地2久安セントラルビル2階 代表取締役 大山敏之</p> <p>土屋ケアカレッジ 代表 五十嵐憲幸</p>
研修機関情報	<p>土屋ケアカレッジ 那覇教室 〒900-0032 沖縄県那覇市松山2丁目21-26 K.Sビルディング2F</p> <p>【経営理念】介護に携わる者が、業務を遂行する上で最低限の知識・技術とそれを実践する際の考え方のプロセスを身につけ、基本的な介護業務を行うことができるようにすることを目的として実施する。</p> <p>●学則 別紙の「学則」とおり</p> <p>●研修施設、整備</p> <p>・研修施設 (講義) 沖縄市諸見里 3 丁目 47-16 コミュニティー広場ゆいゆい (演習) 沖縄市諸見里 3 丁目 47-16 コミュニティー広場ゆいゆい</p> <p>実習施設(事業所) 生活サポートセンターまあ〜る、ヘルパーステーションくる</p> <p>・整備 吸引器 2セット シミュレーター 2セット 経管栄養セット 2セット ベッド 2台 車椅子2台 タオル、紙おむつ、パジャマ 文字盤 2セット</p>

<p>研修の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象 重度訪問介護従業者として従事することを希望する者。 通学ができる者。</li> <li>●研修のスケジュール(期間、日程、時間数) 「コーススケジュール」「研修カリキュラム」のとおり</li> <li>●定員(集合研修、実習)と指導者数 ・定員5名 ・指導者数 「居宅介護職員初任者等養成研修事業個別計画一覧」の通り</li> <li>●研修受講までの流れ 「学則」受講申込方法のとおり</li> <li>●費用 「学則」研修受講料のとおり</li> <li>●留意事項、特徴、受講者へのメッセージ等 ※受講開始から2か月以内に修了するものとする。 ※研修の受講に際して、受講申し込み受付時又は、研修開始日に本人確認を行うことが義務付けられておりますので、ご協力お願いいたします。本人確認の方法は、以下の公的証明書の提出により行うものとしますので、いずれか1つを必ずご持参ください。</li> </ul>
<p>課程責任者</p>	<p>幸 将史</p>
<p>講師一覧</p>	<p>別紙「講師一覧」のとおり</p>
<p>研修カリキュラム 修了評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●科目別シラバス 「研修カリキュラム」のとおり</li> <li>●科目別担当教官名 「居宅介護職員初任者等養成研修事業個別計画一覧」のとおり</li> <li>●科目別特徴 「研修カリキュラム」のとおり ・演習の指導体制 3人もしくは2人一組で実技・演習を行う。 資格を有する担当看護師講師と協力事業所担当者と実際の支援に基づいた演習指導を行う。 研修終了後、就業に向けた振り返りを行う。</li> </ul>

●終了評価の方法

「学則」研修修了の認定方法のとおり

●評価者、再履修等の基準

・評価者

「研修カリキュラム」の担当講師

・再履修等の基準

100点満点中90点以上で合格。

不合格ならば、フィードバック後、再テストを実施。

●協力実習機関の名称・住所等

●協力実習機関の介護保険事業の概要

生活サポートセンターまあ〜る

施設種別:生活介護

沖縄県北谷町字上勢頭544番地5号

ヘルパーステーションくるる

沖縄県沖縄市諸見里3丁目47番14号

施設種別:訪問介護

居宅介護

重度訪問介護

同行援護

●協力実習機関の演習担当者名

「研修カリキュラム」の担当講師のとおり

●実習プログラム内容、プログラムの特色

・基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習

基礎的な介護技術を習得することで現場にスムーズに対応できるようにする。

また、コミュニケーションについて学ぶことで、重度の肢体不自由者との関係性の構築につなげる。

・外出時の介護技術に関する実習

車イスでの移動を体験することで、重度の肢体不自由者が置かれている状況を体験し、安全な操作がいかに重要か理解する。

・重度障害者の介護サービス提供現場での実習

実際の介護現場を体験し、また当事者視点で必要とされる介護職員としての心構えを学ぶことによって、介護職員としての資質を高める。

	<p>●実習中の指導体制・内容(振り返り、実習指導等) 資格を有する講師が衣類の着脱、オムツ交換等、実際に現場で使用 する介護技術についてや、実際の現場でのコミュニケーションの取り方の指 導や障害当事者の方にご協力頂き、当事者視点で求められる介護職員 としての心構えなどを指導する。 研修終了後、就業に向けた振り返りを行う。</p> <p>●協力実習機関における延べ人数 135人</p>
講師情報	「講師一覧」の通り
実績情報	<p>●過去の研修実施回数(年度ごと) 令和3年度:10回 令和4年度:14回 令和5年度:18回</p> <p>●過去の研修延べ参加人数(年度ごと) 令和3年度:23名 令和4年度:34名 令和5年度:47名</p>
連絡先	<p>●お申込み・資料請求先 土屋ケアカレッジ 運営事務局 TEL:050-3138-2024 Mail:college@care-tsuchiya.com Web: <a href="https://tcy-carecollege.com/">https://tcy-carecollege.com/</a></p> <p>●法人の苦情対応者名・役職・連絡先 苦情対応部署:株式会社土屋 土屋ケアカレッジ運営事務局 苦情担当窓口 電話 050-3138-2024 土屋ケアカレッジ代表 五十嵐憲幸</p> <p>●事業所の苦情対応者名・役職・連絡先 幸 将史 運営マネージャー 電話 080-4878-6544</p>

参考様式 1 (要領第 2 条及び第 5 条関係)

## 居宅介護職員初任者等養成研修学則

居宅介護職員初任者等養成研修事業について、「沖縄県居宅介護職員初任者等養成研修事業指定事務取扱要領」に基づき、次のとおり説明します。この内容は重要ですから、十分理解のうえ、受講いただきますようお願いいたします。

説明年月日 年 月 日  
説明者 所属 氏名 印

研修事業者概要	事業者名	株式会社土屋
	代表者職氏名	大山敏之
	資本金	100万円
	主たる事務所の所在地	岡山県井原市井原町192-2 久安セントラルビル2階
	研修事業を実施する事業所の所在地	沖縄県那覇市松山2丁目21-26 K.Sビルディング2F
	委託事業者 (委託を行う場合のみ)	委託事業者は行わない
	問い合わせ先	050-3138-2024
研修内容概要	開講の目的	地域で生活される重度の障害をお持ちの方々に対する、医療的ケアも含めた重度訪問介護サービスの提供
	研修の名称	土屋ケアカレッジ那覇教室 重度訪問介護従業者養成研修統合課程
	課程及び講義の方法	重度訪問介護従業者養成研修(統合課程) 通学形式 一部オンライン形式
	使用テキスト	喀痰吸引等研修テキスト 全国自立生活センター協議会
	受講資格	沖縄県内在住で通学可能なもの
	受講定員	5名
	募集期間	令和7年1月1日～令和8年3月18日
	研修期間	以下の予定で月2回実施 なお受講開始から2か月以内に修了するものとする 令和7年4月9日～令和8年3月26日

研修内容概要	研修カリキュラム及び講師	別紙「研修カリキュラム」参照
	研修実施場所(講義)	沖縄市諸見里3丁目47-16 コミュニティー広場ゆいゆい
	研修実施場所(演習)	沖縄市諸見里3丁目47-16 コミュニティー広場ゆいゆい
	実習施設(事業所)	生活サポートセンターまあ〜る、ヘルパーステーションくる
	免除科目の規程	科目の免除は行わない
	研修修了の認定方法	(1) 出欠の確認方法 研修時に点呼する (2) 成績の評定方法 研修終了時に修了試験を実施する (3) 修了の認定方法 修了試験の90%以上得点したものを修了者として認定する
	補講の実施方法 (補講にかかる費用等の取扱い)	15分以上の遅刻または早退をした場合欠席とする 欠席した場合、2か月以内に別日程の当研修を受講することで補講とする 補講は無料で受けられるものとする
	他事業者での補講 (必要な場合のみ)	他事業所での補講は行わない
損害賠償規程	受講中に生じた事故等は、その状況に応じて当事者と協議の上、損害賠償の範囲を定め対応する。	
受講申込手続き概要	受講申込方法	電話にて申し込みとする(050-3138-2024) 申し込み時、以下の内容を確認する ①氏名 ②性別 ③生年月日、年齢 ④郵便番号、住所 ⑤電話番号 ⑥希望の研修日程 ⑦所属団体(介助歴) ⑧現在取得している資格  本人確認の方法は、以下の公的証明書の提出により行う。 以下のいずれか1つを研修時に必ず持参。 ①運転免許証の提示 ②健康保険証の提示 ③パスポートの提示 ④在留カードなどの提示 ⑤住民基本台帳カードの提示
	研修受講料 (テキスト代及び消費税含む)	受講料 30,000円(税込み、実習費、テキスト代含む)
	受講料補助制度	受講料補助制度は無し
	解約規程	(1)学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者 (2)研修の秩序を乱し、その他受講者としての本文に反した者 (3)反社会的勢力またはその関係者と認められる者
	沖縄県への報告	修了者を修了者台帳に記載し、永久保存するとともに、沖縄県が指定した様式に基づき知事に報告する。
	その他研修受講に関する規程	この学則に必要な細則並びにこの学則に定めない事項で必要があると認められるときは、当法人がこれを定める。

## コーススケジュール

### 【全23回日程】

【第1回】	令和 7年 4月 9日	～	令和 7年 4月 10日
【第2回】	令和 7年 4月 23日	～	令和 7年 4月 24日
【第3回】	令和 7年 5月 14日	～	令和 7年 5月 15日
【第4回】	令和 7年 5月 28日	～	令和 7年 5月 29日
【第5回】	令和 7年 6月 11日	～	令和 7年 6月 12日
【第6回】	令和 7年 6月 25日	～	令和 7年 6月 26日
【第7回】	令和 7年 7月 9日	～	令和 7年 7月 10日
【第8回】	令和 7年 7月 23日	～	令和 7年 7月 24日
【第9回】	令和 7年 8月 27日	～	令和 7年 8月 28日
【第10回】	令和 7年 9月 10日	～	令和 7年 9月 11日
【第11回】	令和 7年 9月 24日	～	令和 7年 9月 25日
【第12回】	令和 7年 10月 8日	～	令和 7年 10月 9日
【第13回】	令和 7年 10月 22日	～	令和 7年 10月 23日
【第14回】	令和 7年 11月 12日	～	令和 7年 11月 13日
【第15回】	令和 7年 11月 26日	～	令和 7年 11月 28日
【第16回】	令和 7年 12月 10日	～	令和 7年 12月 11日
【第17回】	令和 7年 12月 24日	～	令和 7年 12月 25日
【第18回】	令和 8年 1月 14日	～	令和 8年 1月 15日
【第19回】	令和 8年 1月 28日	～	令和 8年 1月 29日
【第20回】	令和 8年 2月 11日	～	令和 8年 2月 12日
【第21回】	令和 8年 2月 25日	～	令和 8年 2月 26日
【第22回】	令和 8年 3月 11日	～	令和 8年 3月 12日
【第23回】	令和 8年 3月 25日	～	令和 8年 3月 26日

## 研修カリキュラム

研修事業者名 株式会社土屋

研修の名称及び課程 土屋ケアカレッジ沖縄重度訪問介護従業者養成研修統合課程  
 重度訪問介護従業者養成研修統合課程

日程	時間	教科名	内容	担当講師
研修日程 の1日目 ※	9:00 ～ 11:00	重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義	重度肢体不自由者の地域生活及び、当事者への理解について学ぶ	新田智美 與儀達史 宮里清瑚
	11:10 ～ 13:10	コミュニケーションの技術に関する講義	重度肢体不自由者との普段の生活の中でのコミュニケーション取り方について学ぶ	新田智美 與儀達史 宮里清瑚
	13:40 ～ 16:40	喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義	喀痰吸引に関する基本的知識の習得 喀痰吸引が必要な方の身体の状態、緊急時の対応等について学ぶ	富島めぐみ 冷水一江 知念司 平井里実
	16:50 ～ 19:50	経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義	経管栄養に関する基本的知識の習得 経管栄養が必要な方の身体の状態、緊急時の対応等について学ぶ	富島めぐみ 冷水一江 知念司 平井里実
	20:00 ～ 21:00	喀痰吸引等に関する演習	シミュレーターを用いて喀痰吸引、経管栄養の演習を行う。	富島めぐみ 冷水一江 知念司 平井里実
研修日程 の2日目 ※	9:00 ～10:00	基礎的な介護技術に関する講義	基礎的な介護技術に関する講義	新田智美 與儀達史 宮里清瑚
	10:00 ～ 10:30	オリエンテーション	実習オリエンテーション。講師紹介、実習の目的、実習の流れ、実習の注意事項等の説明。	玉井恵美子 宮島京子 宮島眞則
	10:40 ～ 13:40	基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習	衣類の着脱、オムツ交換等、実際に現場で使用する介護技術について実習を行う。実際の現場でのコミュニケーションの取り方について実習を行う。	玉井恵美子 宮島京子 宮島眞則
	14:20 ～ 16:20	外出時の介護技術に関する実習	車イスに相互に乗車し、移動介助の実習を行う。研修室内、外出、段差の昇り降り等について安全な外出の介護技術を習得する。車イスの安全な操作方法も習得する。	玉井恵美子 宮島京子 宮島眞則
	16:30 ～ 20:00	重度障害者の介護サービス提供現場での実習	障害当事者の方にご協力頂き、当事者視点で求められる介護職員としての心構えなどを学ぶ。	玉井恵美子 宮島京子 宮島眞則
	20:00 ～ 21:00	筆記試験・振り返り	修了試験の90%以上得点したものを修了者として認定	



様式第3号(要領第5条関係)

居宅介護職員初任者等養成研修事業講師一覧表

研修事業者名【土屋ケアカレッジ 那覇教室】 研修課程【重度訪問介護従業者養成研修 統合課程】

担当講師氏名	専任又は兼任 ※いずれかに○	担当科目	主な関係資格	資格取得年月日	主な関係職歴	職務経験年数	備考
新田智美	専任・兼任	I 1 重度肢体不自由者の地域生活に関する講義	介護福祉士	H25.12	介護職員	9年	現職：ホームケア土屋沖縄介護職員
		I 2 基礎的な介護技術に関する講義					
		I 3 コミュニケーションの技術に関する講義					
富島めぐみ	専任・兼任	I 4 喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義	正看護師	H9.5	看護師	24年	現職：ホームケア土屋沖縄看護職員
		I 5 経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義					
		II 1 喀痰吸引等に関する演習					
冷水一江	専任・兼任	I 4 喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義	正看護師	H6.2	看護師	25年	現職：ホームケア土屋沖縄看護職員
		I 5 経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義					
		II 1 喀痰吸引等に関する演習					
知念司	専任・兼任	I 4 喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義	正看護師	H26.4	看護師	7年	現職：ホームケア土屋沖縄コーディネーター
		I 5 経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義					
		II 1 喀痰吸引等に関する演習					
與儀 達史	専任・兼任	I 1 重度肢体不自由者の地域生活に関する講義	介護福祉士	H11.4	介護職員	16年	現職：土屋ケアカレッジ研修講師
		I 2 基礎的な介護技術に関する講義					
		I 3 コミュニケーションの技術に関する講義					
平井 里実	専任・兼任	I 4 喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義	正看護師	H12.5	看護師	34年	現職：土屋ケアカレッジ研修講師
		I 5 経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義					
		II 1 喀痰吸引等に関する演習					

宮里 清瑚	専任・兼任	I 1 重度肢体不自由者の地域生活に関する講義	介護福祉士	H30.8	介護職員	6年	現職：ホームケア 土屋沖縄 管理者
		I 2 基礎的な介護技術に関する講義					
		I 3 コミュニケーションの技術に関する講義					

※行を追加又は削除する等、適宜変更して作成すること。